

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋 賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
(渋川福祉センター内)  
TEL 0561-51-2878



2016/07/01

日本人の総氏神、  
天照大御神を祀る  
東京大神宮は東京に  
おける伊勢神宮の遥拝  
殿として創建された。

江戸時代「庄に一度は」と入々が蔓延したお伊勢参り。現代においても祈願成就を求める老若男女がこぞそ詣でる伊勢神宮は、「日本人の心のふるさと」ともいわれる。その伊勢神宮に祀られる神々を東京に居ながらにしてお参りできるのが「東京のお伊勢さま」とも称され、

日々の暮らしに感謝し幸せを祈願する多くの人の拠り所とならう。縁を結ぶ神社として有名な高岡人生に於ける悩みを念々諦めれば全て「人間関係」である。



2016/06/11



2016/07/01

ニ礼二拍一礼十六の菊の紋がごじたる。

神前結婚式の始まりは東京大神宮。日本由来の伝統と美風を重んじた神前結婚式。その歴史は明治35年(1902)皇太子嘉仁親王殿下(後の大正天皇)の御結婚の礼に始まる。皇室で初めて皇居内の賢所(神前)で執り行われたこの慶事を記念して、東京大神宮では一般の人々に向けた神前結婚式を創始。画期的な出来事として世間の注目を集めた。夏目漱石の小説「行人」には、東京大神宮の結婚式の様子が克明に描かれている。

都心の喧騒を忘れてしまおう。緑豊かな境内で、舞妓の中に身を置くと心身の邪気も取れられていこう。お参りのあとの楽しみとして、夏目漱石の小説「行人」には境内で伊勢名物「赤福」が振るまわれ、まるで伊勢の地を歩いたかのようは気持ちになる。



2016/07/01



2016/07/01